



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <https://www.terumo.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 鮫島 光

問合せ先責任者（役職名） 経営役員CFO、CIO（氏名） 萩本 仁（TEL）03-6742-8550

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前中間利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	534,930	5.2	100,983	15.1	101,212	18.9	76,897	21.7	76,897	21.7	88,008	—
2025年3月期中間期	508,685	14.6	87,716	31.9	85,140	28.2	63,204	26.2	63,204	26.2	4,840	△97.1

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	52.13	52.12
2025年3月期中間期	42.57	42.56

（参考）調整後営業利益 2026年3月期中間期 114,401百万円 2025年3月期中間期 103,984百万円

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,894,821	1,437,536	1,437,536	75.9
2025年3月期	1,828,393	1,368,535	1,368,535	74.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2026年3月期	—	15.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後 営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,108,000	6.9	221,500	8.9	181,500	15.1	136,000	16.3	92.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

- ・連結業績予想については、本日（2025年11月12日）公表の「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- ・通期業績予想前提レート：1ドル＝148円、1ユーロ＝169円

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	1,480,559,680株	2025年3月期	1,480,559,680株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	5,487,410株	2025年3月期	5,608,213株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	1,474,995,240株	2025年3月期中間期	1,484,791,597株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料] 4 ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書	5
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	7
(要約中間連結損益計算書)	7
(要約中間連結包括利益計算書)	8
(3) 要約中間連結持分変動計算書	9
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(非金融資産の減損)	12
(企業結合等関係)	12
(重要な後発事象)	14

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日、以下「当中間期」）においては、グローバルで医療需要が拡大し、当社グループの販売は好調に推移しました。

当中間期の業績は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
売上収益	508,685	534,930	5.2	8.0
売上総利益	277,021	292,464	5.6	8.2
調整後営業利益	103,984	114,401	10.0	13.2
営業利益	87,716	100,983	15.1	18.4
税引前中間利益	85,140	101,212	18.9	－
中間利益	63,204	76,897	21.7	－
親会社の所有者に帰属する中間利益	63,204	76,897	21.7	－

当中間期の地域別売上収益は以下のとおりです。

（単位：百万円）

地域	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
米州	190,592	207,061	8.6	14.7
欧州	104,008	112,247	7.9	6.3
中国	44,562	45,113	1.2	5.1
アジア他	62,705	60,736	△3.1	1.7
海外計	401,868	425,159	5.8	9.4
日本	106,817	109,770	2.8	2.8
合計	508,685	534,930	5.2	8.0

<売上収益>

売上収益は、前年同期比5.2%増の5,349億円となりました。

海外は、アクセス製品を中心としたインターベンショナルシステムズ事業及び血漿イノベーションビジネスの拡大を背景に、前年同期比5.8%の増収となりました。

日本は、ニューロ事業及びファーマシューティカルソリューション事業の売上が好調に推移し、前年同期比2.8%の増収となりました。

<利益>

売上総利益は、売上収益の増加等により、前年同期比5.6%増の2,925億円となりました。

調整後営業利益は、売上総利益の増加等により、前年同期比10.0%増の1,144億円となりました。

営業利益、中間利益、親会社の所有者に帰属する中間利益は、売上総利益の増加等により、いずれも増益となりました。

なお、当社グループは、当社グループが適用する会計基準であるIFRSにおいて定義されていない、調整後営業利益という業績管理指標を追加的に開示しております。調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益であり、セグメント利益と一致しています。

調整後営業利益は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するために経営管理に利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報であると考えております。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)					
報告セグメントの名称		前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
心臓血管カンパニー	売上収益	306,264	322,053	5.2	8.3
	(海外)	280,231	294,011	4.9	8.4
	(日本)	26,032	28,041	7.7	7.7
メディカルケアソリューションズ カンパニー	売上収益	104,278	105,639	1.3	1.9
	(海外)	29,771	30,367	2.0	4.2
	(日本)	74,506	75,272	1.0	1.0
血液・細胞テクノロジーカンパニー	売上収益	98,009	107,074	9.2	13.6
	(海外)	91,865	100,781	9.7	14.4
	(日本)	6,144	6,292	2.4	2.4

<心臓血管カンパニー>

海外は、為替による下押し影響を受けながらも、インターベンショナルシステムズ事業を中心に増加し、前年同期比4.9%の増収となりました。日本は、インターベンショナルシステムズ事業及びニューロ事業の売上が増加し、前年同期比7.7%の増収となりました。その結果、グローバルの売上収益は前年同期比5.2%増の3,221億円となりました。

<メディカルケアソリューションズカンパニー>

日本は、一部事業の終了等を受けてホスピタルケアソリューション事業が減収したものの、ファーマシューティカルソリューション事業が伸長し、前年同期比1.0%の増収となりました。海外は、北米及び欧州で売上が増加し、前年同期比2.0%の増収となりました。その結果、グローバルの売上収益は前年同期比1.3%増の1,056億円となりました。

<血液・細胞テクノロジーカンパニー>

北米における血漿イノベーションビジネスの展開加速に伴いグローバルブラッドソリューションが好調に推移した結果、グローバルの売上収益は前年同期比9.2%増の1,071億円となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産合計は、664億円増加して1兆8,948億円となりました。これは主に、生産設備への投資やドイツレバークーゼン工場の取得等により有形固定資産が400億円増加、事業規模の拡大等により棚卸資産が175億円増加したことによるものです。

負債合計は、26億円減少して4,573億円となりました。これは主に、長期借入金の返済等により社債及び借入金が150億円減少した一方で、生産設備への投資に関わる未払金の増加等により営業債務及びその他の債務が109億円増加したことによるものです。

資本合計は、690億円増加して1兆4,375億円となりました。これは主に、中間利益の計上により769億円増加、対ユーロを中心に為替相場が円安方向に推移した影響等に伴うその他の包括利益の計上により111億円増加した一方で、剰余金の配当により192億円減少したことによるものです。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

（単位：百万円）

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,898	101,987	1,088
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,840	△71,008	△32,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,398	△37,951	27,446
現金及び現金同等物の中間期末残高	194,916	217,155	22,239

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,020億円となりました。税引前中間利益1,012億円、減価償却費及び償却費428億円、法人所得税の支払額223億円、棚卸資産の増加136億円が主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、710億円となりました。生産設備等への投資に伴う有形固定資産の取得による支出355億円、ドイツレバークーゼン工場の取得等に伴う関係会社又はその他の事業の取得による支出263億円、新ITシステムへの投資等に伴う無形資産の取得による支出65億円が主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、380億円となりました。長期借入金の返済による支出150億円、配当金の支払額192億円が主な要因です。

また、上記に加えて、現金及び現金同等物に係る換算差額により23億円増加した結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より47億円減少して2,172億円となりました。

（4）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

各事業の業績が好調に推移していることに加え、為替レートも期初の想定より円安で推移したことから、通期の売上収益、調整後営業利益を上方修正しました。また、買収関連費用や減損損失等の一時費用を計上したため、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益の予想値をそれぞれ下方修正しました。詳細については、2025年11月12日公表の「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

（1）要約中間連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	221,872	217,155
営業債権及びその他の債権	176,854	188,225
その他の金融資産	388	134
棚卸資産	294,385	311,911
未収法人所得税等	3,218	2,852
その他の流動資産	26,776	23,797
流動資産合計	723,496	744,076
非流動資産		
有形固定資産	431,078	471,094
のれん及び無形資産	545,243	543,615
持分法で会計処理されている投資	1,927	1,481
その他の金融資産	40,925	43,362
繰延税金資産	31,077	36,040
その他の非流動資産	54,645	55,150
非流動資産合計	1,104,897	1,150,745
資産合計	1,828,393	1,894,821

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	91,029	101,941
社債及び借入金	15,000	59,988
その他の金融負債	7,834	8,290
未払法人所得税等	23,836	27,816
引当金	242	264
その他の流動負債	103,022	97,996
流動負債合計	240,965	296,298
非流動負債		
社債及び借入金	159,838	99,885
その他の金融負債	32,401	35,056
繰延税金負債	5,835	5,650
退職給付に係る負債	6,388	6,552
引当金	617	903
その他の非流動負債	13,809	12,937
非流動負債合計	218,891	160,985
負債合計	459,857	457,284
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	51,725	51,596
自己株式	△14,866	△14,546
利益剰余金	1,016,160	1,073,865
その他の資本の構成要素	276,800	287,904
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,368,535	1,437,536
資本合計	1,368,535	1,437,536
負債及び資本合計	1,828,393	1,894,821

（2）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

（要約中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上収益	508,685	534,930
売上原価	231,663	242,466
売上総利益	277,021	292,464
販売費及び一般管理費	184,738	189,862
その他の収益	3,357	5,196
その他の費用	7,924	6,813
営業利益	87,716	100,983
金融収益	1,758	1,896
金融費用	4,197	1,296
持分法による投資損失	△137	△370
税引前中間利益	85,140	101,212
法人所得税費用	21,935	24,315
中間利益	63,204	76,897
中間利益の帰属		
親会社の所有者	63,204	76,897
中間利益	63,204	76,897
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益（円）	42.57	52.13
希薄化後1株当たり中間利益（円）	42.56	52.12

（要約中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間利益	63,204	76,897
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	805	△506
確定給付制度の再測定	△27	44
純損益に振り替えられることのない 項目合計	778	△462
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△59,194	11,573
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△5	—
ヘッジコスト	56	—
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△59,142	11,573
その他の包括利益	△58,363	11,111
中間包括利益	4,840	88,008
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,840	88,008
中間包括利益	4,840	88,008

（注） 上記の計算書の項目は、税引後で開示しております。

（3）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	合計	
2024年4月1日時点の残高	38,716	51,752	△12,436	954,679	294,379	1,327,090	1,327,090
中間利益	—	—	—	63,204	—	63,204	63,204
その他の包括利益	—	—	—	—	△58,363	△58,363	△58,363
中間包括利益合計	—	—	—	63,204	△58,363	4,840	4,840
自己株式の取得	—	△1	△2,246	—	—	△2,247	△2,247
自己株式の処分	—	△179	406	—	△226	0	0
剰余金の配当	—	—	—	△16,332	—	△16,332	△16,332
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	120	—	△120	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△27	27	—	—
株式報酬取引	—	△51	170	—	37	156	156
所有者との取引額合計	—	△112	△1,669	△16,479	△161	△18,423	△18,423
2024年9月30日時点の残高	38,716	51,640	△14,106	1,001,404	235,853	1,313,508	1,313,508

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	合計	
2025年4月1日時点の残高	38,716	51,725	△14,866	1,016,160	276,800	1,368,535	1,368,535
中間利益	—	—	—	76,897	—	76,897	76,897
その他の包括利益	—	—	—	—	11,111	11,111	11,111
中間包括利益合計	—	—	—	76,897	11,111	88,008	88,008
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	△1	△1
自己株式の処分	—	△40	52	—	△12	0	0
剰余金の配当	—	—	—	△19,174	—	△19,174	△19,174
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	62	—	△62	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	44	△44	—	—
株式報酬取引	—	△150	268	—	49	167	167
所有者との取引額合計	—	△128	320	△19,192	△6	△19,007	△19,007
2025年9月30日時点の残高	38,716	51,596	△14,546	1,073,865	287,904	1,437,536	1,437,536

（4）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	85,140	101,212
減価償却費及び償却費	41,848	42,847
減損損失	3,530	4,530
持分法による投資損益（△は益）	137	370
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△1,200	810
受取利息及び受取配当金	△1,660	△1,864
支払利息	1,091	885
為替差損益（△は益）	△907	△2,888
固定資産除売却損益（△は益）	△1,333	255
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	8,526	△8,620
棚卸資産の増減額（△は増加）	△12,649	△13,573
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△628	△2,380
その他	4,401	1,763
小計	126,298	123,348
利息及び配当金の受取額	1,569	1,917
利息の支払額	△892	△938
法人所得税の支払額	△26,076	△22,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,898	101,987
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△211	△127
定期預金の払戻による収入	1,399	203
有形固定資産の取得による支出	△31,697	△35,455
有形固定資産の売却による収入	2,412	97
無形資産の取得による支出	△6,859	△6,476
政府補助金による収入	—	68
有価証券の取得による支出	△3,784	△3,065
関係会社又はその他の事業の取得による支出	△98	△26,253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,840	△71,008
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	29,969	—
長期借入金の返済による支出	△160,278	△15,000
社債の発行による収入	69,826	—
リース負債の返済による支出	△4,001	△3,781
自己株式の取得による支出	△2,248	△1
自己株式取得のための預託金の増減額（△は増加）	△7,754	—
配当金の支払額	△16,331	△19,169
デリバティブの決済による収入	25,420	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,398	△37,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,627	2,255
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△9,966	△4,717
現金及び現金同等物の期首残高	204,883	221,872
現金及び現金同等物の中間期末残高	194,916	217,155

（5）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、社内カンパニー制を基礎とした製品群別のセグメントから構成された「心臓血管カンパニー」、「メディカルケアソリューションズカンパニー」及び「血液・細胞テクノロジーカンパニー」の3つを報告セグメントとしております。

（2）報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	要約中間 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メディカル ケアソリュー ションズ カンパニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー	合計		
売上収益						
外部顧客への 売上収益	306,264	104,278	98,009	508,552	132	508,685
セグメント利益 (調整後営業利益)	76,875	12,744	13,195	102,816	1,168	103,984
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△5,084	—	△5,622	△10,706	△194	△10,901
一時的な損益(注) 2						△5,366
営業利益						87,716
金融収益						1,758
金融費用						△4,197
持分法による投資損益						△137
税引前中間利益						85,140

（注）1．調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額132百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額1,168百万円には、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△1,078百万円、棚卸資産の調整額2,165百万円等が含まれております。
- 2．一時的な損益△5,366百万円には、事業再編費用△6,594百万円、土地の売却益1,355百万円が含まれております。

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	要約中間 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メディカル ケアソリューションズ カンパニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー	合計		
売上収益						
外部顧客への 売上収益	322,053	105,639	107,074	534,766	163	534,930
セグメント利益 (調整後営業利益) (調整項目)	87,016	13,530	15,623	116,169	△1,768	114,401
買収無形資産の償却費	△4,764	—	△5,374	△10,138	89	△10,048
一時的な損益(注) 2						△3,369
営業利益						100,983
金融収益						1,896
金融費用						△1,296
持分法による投資損益						△370
税引前中間利益						101,212

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額163百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額△1,768百万円には、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△823百万円、棚卸資産の調整額511百万円等が含まれております。
2. 一時的な損益△3,369百万円には、注記事項「(非金融資産の減損)」に記載の減損損失△4,530百万円、事業再編費用△1,344百万円、買収関連費用△1,176百万円、製薬会社との新規受託製造プロジェクトの中止に伴う損失補償3,684百万円が含まれております。

(非金融資産の減損)

当中間連結会計期間に認識した減損損失4,530百万円は、主に以下の理由によるものです。

(米州子会社が保有するインターベンショナルシステムズ事業に関する独占販売権の契約見直し)

当中間連結会計期間において、心臓血管カンパニーに属する独占販売権について、提携方法の見直しに伴い同独占販売権に関する契約を終了したことによる減損損失4,380百万円を計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。その他の無形資産について認識した当該減損損失は、要約中間連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

(企業結合等関係)

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

(1) 企業結合の概要

① 事業譲受の相手企業の名称及び事業の内容

事業譲受の相手企業の名称：WuXi Biologics社

事業の内容：医薬品開発製造受託（CDMO）

(注) CDMO企業である同社が保有していたドイツレバークーゼンの薬剤製品工場を取得しています。

② 取得日

2025年9月30日

③ 企業結合の主な理由

当社グループは、薬剤に適した素材を用いた薬剤充填用シリンジ等の容器並びに投与デバイスを開発するとともに、高度な製造技術を活かした医薬品と医療機器のコンビネーションプロダクトのCDMO事業を手掛けており、同事業のグローバル化を今後の成長戦略の一つとして位置付けております。

今回の買収で取得する薬剤製品工場を、当社グループとして初となる海外のCDMO生産拠点として活用することにより、生産キャパシティの拡充並びにグローバル対応力の強化を図り、CDMO事業のグローバル展開を加速させます。

(2) 取得対価、取得した資産及び引き受けた負債の公正価値、のれん

(単位：百万円)

科目	金額
棚卸資産	156
有形固定資産	12,662
無形資産	568
繰延税金資産	678
資産合計	14,066
その他の金融負債	△117
繰延税金負債	△139
負債合計	△256
支払対価（現金）（注）1	27,126
取得対価合計（注）2	27,126
のれん（注）3	13,317

(注) 1. 支払対価（現金）27,126百万円のうち26,184百万円を当中間連結会計期間で支払っております。

2. 取得対価は、取得日における公正価値を基礎として、取得した資産及び引き受けた負債に配分しております。取得した資産及び負債への配分は確定しておらず、上記金額は現時点での最善の見積りによる暫定的な公正価値であるため、取得日時点で存在していた事実や状況に関する追加的な情報が得られ評価される場合、取得日から1年間は修正されることがあります。

3. のれんは、今後の事業展開により期待される将来の超過収益力です。税務上損金算入可能と見込まれるのれんの金額は発生していません。

(3) 取得関連費用

当該企業結合に係る取得関連費用に重要性はありません。

(4) 被取得事業の売上収益及び中間利益

当中間連結会計期間は財政状態計算書のみを連結しているため、取得事業の業績は含まれておりません。

(5) 企業結合が期首に完了したと仮定した場合の要約中間連結財務諸表に与える影響（プロフォーマ情報）

当該影響額に重要性が乏しいことから、記載を省略しております。なお、当該プロフォーマ情報は監査を受けておりません。

（重要な後発事象）

（企業結合）

当社は、臓器提供者（ドナー）から摘出した移植用臓器を保存する「臓器保存デバイス」のイノベーターであるOrgan0x社の株式を総額約15億米ドルで取得し、同社を完全子会社化（以下、「本買収」）することについて、2025年8月23日付で同社及び同社の株主と最終契約を締結し、2025年10月29日に本買収が完了しました。

（1）企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：Organ0x Limited

被取得企業の事業の内容：臓器保存デバイスの製造・販売

② 取得日

2025年10月29日

③ 取得した議決権付資本持分の割合

取得日直前に所有していた議決権比率0.5%

取得日に追加取得した議決権比率99.5%

取得後の議決権比率100%

④ 企業結合の主な理由

本買収を通じて当社グループは、未充足ニーズが大きく存在し、今後も高い成長が期待できる臓器移植関連分野に参入します。当社が医療機器開発において長年培ってきた技術力と専門性に、Organ0x社が有する常温機械灌流（NMP：Normothermic Machine Perfusion）の知見やノウハウを融合することで、革新的な臓器保存デバイスをグローバルに提供してまいります。これにより、移植用臓器の使用率向上、マージナルドナーの臓器の活用促進、移植後成績の改善、夜間や緊急の移植手術の回避による医療従事者の負担軽減など、臓器移植に関する様々な課題を解決し、待機患者への移植機会の拡大及び移植医療の発展に貢献します。

⑤ 被取得企業の支配を獲得した方法

株式取得

（2）取得対価

約15億米ドル

なお、本買収が完了した時期に起因し、連結財務諸表の承認日までに企業結合の当初の会計処理が完了していないため、取得日における取得資産及び引受負債の公正価値、のれん、取得関連費用等については記載しておりません。

（重要な借入）

当社は、2025年10月17日開催の取締役会決議に基づき、株式会社三菱UFJ銀行及び株式会社みずほ銀行と金銭消費貸借契約を2025年10月24日付で締結し、2025年10月29日付で借入を行いました。

1. 借入の目的 OrganOx社の買収に充当
2. 借入先の名称 株式会社三菱UFJ銀行及び株式会社みずほ銀行
3. 借入金額 2,400億円
4. 借入金利 基準金利＋スプレッド
5. 借入実行日 2025年10月29日
6. 返済期日 2026年10月30日
7. 担保提供資産 なし
8. 財務制限条項
 - ・ 2026年3月決算期以降の各年度決算期及び中間期（以下、本項において当該決算期を「本・中間決算期」という）の末日における当社の連結財政状態計算書において、資本合計の金額を、2025年9月決算期の年度決算期の末日における当社の連結財政状態計算書における資本合計の金額として記載された金額又は直前の本・中間決算期の末日における当社の連結財政状態計算書の資本合計の金額のいずれか大きい方の75%以上に維持すること。
 - ・ 株式会社格付投資情報センターによる当社の発行体格付をBBB-以上に維持すること。